第２回うきは市立義務教育学校新設準備委員会 学校施設整備部会　議事要旨

開催日時	令和８年 10 月８日（木）19：00～20：24
開催場所	うきは市立図書館３階大会議室
参加者	部員：石井(太) 部会長、佐々木部会員、梶原部会員、竹並部会員、弘瀬会員、石井(雄)部会員、古賀部会員、江口部会員、田中(晃)部会員、城後部会員、麻生部会員、徳永部会員 （欠席）金子部会員、田中(啓)部会員 事務局（市長部局）：権藤財政係長、久保田建設係長、樋口建設管理係長 事務局（教育委員会部局）：松田教育長、江藤学校教育課長、熊懐学校再編推進室長、坂本指導主事、佐々木指導主事、井上学校再編係員、佐藤学校総務係長、 （欠席）宮原学事係長

議事次第

１.開会
２.部会長あいさつ
３.議事
（1）第１回の振り返り
（2）今回の協議について
（3）グループ協議
本日のテーマ：「どんな学校にしたい」を「どんな機能が必要」に変えてみよう
うきは市の義務教育学校だからこそ、大切にしたい機能
４.次回の部会開催日
５.閉会

議事要旨

１．開会

２．部会長あいさつ　　石井(太)部会長

３．議事

（1）第１回の振り返り

事務局より、第１回まとめ資料をもとに「9 年間で経験してほしい学び、地域と学校のつながり、新しい学校にあると学びが変わると思う空間」の３点からの協議内容について報告がなされた。

（2）今回の協議について

事務局より、資料をもとに協議の進め方について説明。今回の協議については、部屋や施設の名称だけではなくどんな機能が必要なのか掘り下げて考える旨を説明した。

石井(雄)部会員	・４ページの協議の進め方で、５番に重点３つを選ぶというのがありますが、これは機能を選ぶのですか。何を選ればいいか分からないので説明をお願いします。 →（事務局）テーマの中で意見が出てきたものの中で、これが大事だというのを３点選んでいただこうかなと思ってます。

	・6 つのテーマでいろいろピックアップしてもらったものを機能、必要な機能というのを協議していくので 6 個以上は出てきます。 →（事務局）その中で、その班ごとに優先したいものを順位付けしていくような感じで３つ挙げてほしいと思います。 ・3 つに絞る理由はなんですか。 →（事務局）3 つに絞る理由は特にないが、絞って順位付けしていきたいなと考えているところなので、出てきたもの全体に順位付けして見比べておきたいなというところがあります。 ・A班とB班で絞っていくとそれぞれ違うのが出てくると思うが、ゴール像としては何が出てくればいいのですか。 →（事務局）今の段階では、次年度設計に入るのか、設計の前にもう一個違う形を取るのかというのが多分年内くらいには方向性が定まってくると思うが、その次に進む時に皆さんで話していただいた内容がそこで生きてくるのかなと思います。 　話し合いの内容が設計とかに生きていく部分で、いろいろな案を出していただくというのが今大事な時期じゃないかなとは思っているので、その 6 つのご意見をたくさん出してもらって、その中でも優劣をつけてというのがその 3 つ選びましょうというところの部分になります。
麻生部会員	なるほど。昨日は教育課程部会があって、メンバーも違いますし、私はそちらにも入っているので、そちらではどんな学校にしたいかという目指す子どもの姿とか、教育課程について話していますが、それと、この施設でどんな学びをさせるかというところは共通すると思いますが、そのすり合わせとかはしなくていいのですか。それぞれ 3 つの部会が話し合ったものをどう整理していくのですか。 →（事務局）そうですね。そこについては、今日も他の部会で出たワークショップの内容をお渡ししようかなとも考えましたが、大量の情報を一度に出すと噛み砕くのにお時間いただくかもしれないので、今月 28 日の準備委員会で、各部会のまとめの資料を作るので、それを次回の部会で、3 部会ではこういうことやってますよとお伝えするようになっていくのかなと思っています。
石井部会長	この部会は施設整備部会なので、議論の中心はどんな施設や設備が欲しいという話ですよね。その絞り込みをするという考え方でいいですか。教育内容で入っていくと議論が非常に難しいのではと思うので、こんな図書館が欲しいよね、こんな中から最先端の ICT を備えて、必ず結論は設備や施設に行く。そういうまとめ方をしないと大変かなと思います。特に「機能」という言葉って難しい言葉で定義付けが大変だと思います。 →（事務局）その 3 つに絞るというところに時間を割かずに、こういう施設設備があったらいいなというところの機能的な話をしていく時間にして、今回考える 6 つのＡからＦにテーマの中で、こういう機能を持った場所があると、それが発揮できるんじゃないかというのをそれぞれ考えていただくような時間にしていただきたいと思います。この 6 個のテーマというのは前回のご意見の中でこういうのがあったらいいなというのを出していただいたものなので、それを深掘りするところでお願いします。

石井部会長	どうですか。一旦、２つの班に分かれてご意見をいただき、もしまた必要な時はもう一回全体に戻ってくる、というのはどうでしょうか。そのあたり、今事務局が言った深掘りと言いますか、そのあたりのところを少しグループで話をする時間を取らせてもらえればと思いますので、よろしくお願いします。

(3) グループ協議

テーマ：「どんな学校にしたい」を「どんな機能が必要」に変えてみよう

新しい学校にどんな機能が必要か、６つのテーマから交流を行った。

Ａ 地域とのつながり　Ｂ ９年間の学びの連続性　Ｃ 異学年交流　Ｄ 多様な学び・居場所
Ｅ 安心・安全・動線　Ｆ 未来の学校

【１班】

Ａ 地域とのつながり

・ＰＴＡや自治協議会が使用できる部屋
・ランチルームや音楽室に間仕切りをつけることで、交流スペースや多用途に使える部屋
・バスやのるーとの駐車場の整備

Ｂ ９年間の学びの連続性

・小規模の集団で交流や会議ができる小部屋
・壁に自由な発想で書ける掲示スペース

Ｃ 異学年交流

・学年区分でフロアに分かれる教室配置
・全学年が使い易い特別教室の配置

Ｄ 多様な学び・居場所

・不登校の児童・生徒が登校しやすいよう、入り口が別にある部屋
・クールダウンし、気持ちを切り替えるスペース（例えば畳の部屋など）

Ｅ 安心・安全・動線

・スクールバスと児童生徒の登下校が交差しない安全な動線設計
・車で通り抜けることができる動線の確保
・大雨に備え、校地の地上げや屋上まで垂直避難できる建物設計
・けがをした児童生徒、車椅子の利用、物品の移動などのためエレベーターの完備
・児童・生徒の様子を見守ることができる見通しの良い校舎設計

Ｆ 未来の学校

・蓄電できる太陽光発電設備
・雨水貯水施設

【２班】

Ａ 地域とのつながり

・コミュニティスクールで必要な多目的スペース
・地域農園（幼保連携もできる）

Ｂ ９年間の学びの連続性　Ｃ 異学年交流

・表現活動ができる多目的ホール、ランチルームの併用

D　多様な学び・居場所

・医療ケア児が安心して学べる施設の整備

・気持ちを落ち着ける場所の確保

・不登校支援室や通級指導教室など多様な学びを支える施設整備

E　安心・安全・動線

・災害時の引き渡しや送迎がスムーズにできる駐車場

・防犯カメラやセキュリティ対策、塀の設備

F　未来の学校

・部活動の地域移行に対応する部室の設置やエアコン完備の体育館（２階建て）
大小２面のグラウンドの整備

・ＩＣＴ教育の推進や英会話力を伸ばす英語教育を支える施設整備

【全体交流】

・部会員より、グラウンドの面積確保や駐車場の配置、浸水対策としての地上げの必要性について、より具体的な計画提示を求める意見が出された。

・建設課より、設計段階で設計者に要望を的確に伝えるためにも、必要な機能や優先順位を明確にすることが重要であるとの補足説明がなされた。

・部会員より、特別支援学級の必要数の算定を正確に行うことが設計に向けて必要であるとの意見が出された。

・部会長より、基本計画で示されている教室数や面積、数値等のデータを整理し、次回の議論に活用できるよう準備することが確認された。

４．次回の部会開催日

次回部会を１月中旬から２月前半を目途に開催し、より具体的な施設配置や計画案について検討を行うことが確認された。

５．閉会